園長のひとりごと

　今年の９月の運動会では、４年ぶりに新型コロナ感染症対策としての観覧者の制限を行う事無く、開催する事が出来ました。
開会直前のにわか雨には驚かせられましたが、連日の猛暑続きからの運動会であることを考えますと、外で開催できただけでも良かったと言わざるを得ない状況だったかと思います。雨雲レーダーも見ていたのですが、どうもこども園周辺だけでの降雨だったようです。
全国的な猛暑・酷暑が続く中、特に運動会の前週では３４～３５℃を記録し、小学生が熱中症で亡くなるなど、北海道とは思えないような日が続きました。
炎天下ゆえ屋外での練習も自粛しながら本番を迎える事と成りましたが、保護者皆様のご協力により、好天のもと運動会を終えることが出来ました。
昨年までは、お祖父ちゃん・お祖母ちゃんにお見せする事が出来なかった「かっこいい姿」や「頑張る姿」をご覧頂けたのではないかと思います。
さすがに運動会を過ぎてからは一雨毎に気温も下がり、次第にストーブが恋しくなってきましたが、考えてみれば大雪山での初雪は例年１０月初旬ですからそろそろ身体も冬に向けての準備が必要かもしれませんね。
　そんな保護者皆様にとっても、関心事となっているのが昨年から続く「物価高騰」だと思います。一旦止まった元売り各社への補助金が復活したおかげでガソリン価格も落ち着きを見せて入るものの、この延長も年末までの対応だとすれば、この冬の灯油代は・・電気代は・・、なかなか心配事は尽きませんね。
幸い、この冬の寒さは「平年並みか高い」とする長期予報が出ており、降雪量も「平年並みか少ない」とする予報が出ておりますが油断は禁物ですね。
　９月は園児が収穫したお芋やリンゴを楽しんで頂けましたでしょうか？
これから秋の深まりを感じる季節の到来となりますが、ご家族皆様で食欲の秋、行楽の秋、スポーツの秋を満喫して、風邪に負けない元気な体を作って下さいね。